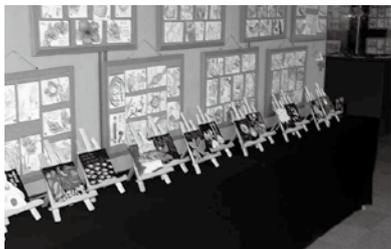


雄勝地区



雄勝硯伝統産業会館では4月12日(出)から5月26日(月)までの間「おらほの絵てがみ展―長瀬れい子と仲間たち」が開催されました。はがきから1メートル四方の大きさの作品まで合わせて400点が展示され、石板や石に描かれたほのぼのとした絵は来場者を和ませてくださいました。

雄勝石が絵てがみのキャンパスに!



河北地区

牛は自然が

大好き!

5月8日(木)、河北上品山牧場に市内の畜産農家より繁殖牛52頭が放牧されました。

トラックから降りるときは、てこずらせた牛もいましたが、血液検査や体重測定などを終え、広い放牧地に放されると、おいしそうに若草を食べたり、元気に走り回っていました。

放牧された牛は、日光浴や運動により余分な脂肪が落ち、ストレスも解消され受胎率の向上などが期待できます。退牧は10月末の予定です。



桃生地区

平成20年度林野火災防ぎょ訓練(宮城県・石巻市主催)が4月27日(日)桃生植立山公園を会場に行われました。当日は、石巻地区の消防本部、各消防団、陸上自衛隊や日本赤十字社など27の関係機関、約1,100人が参加し、情報収集、初期消火訓練などをはじめ、仙台市や宮城県、近隣県の防災へりによる空中消火など28種類の訓練が実施され、中でも地元桃生消防団は、消防ポンプ車など14台の連携による遠距離送水訓練を実施し、その洗練された組織運営や技術力などから歓声が沸きあがっていました。

関係機関相互の協力体制の強化

この訓練は、県内持ち回りで毎年開催され、今年も、石巻地区での開催となり、大規模火災に進展しやすい林野火災に対応するため、関係機関が共同で訓練を実施することによる協力体制の強化と、防ぎよ技術の向上を目的に行われていました。



河南地区

第50回 ヒルズコンサート!!!

4月26日(土)、50回目となる「こもれびフォーラム ヒルズコンサート」が



遊楽館で開催されました。

遊楽館のシンボルともいえるパイプオルガンによるこのコンサートは、毎月第2、第4土曜日の12時15分から30分間開催され、これまで延べ2,700人の方が鑑賞しました。

使用されるオルガンは、二段手鍵盤56鍵、足鍵盤30鍵、パイプ総数1,550本、総重量は約6.5トンもあり、河南地区の工房で製作されました。

入場料は無料ですので、ぜひ皆さんも館内に響き渡る素晴らしい音色をご堪能ください。

牡鹿地区



金華山黄金山神社「初巳大祭神輿渡御」

金華山黄金山神社では5月4日(回)から11日(回)まで初巳大祭が行われ、多くの参拝客や観光客でにぎわいました。

初巳大祭は、古来より同神社最大で重要な祭儀とされており、11日(回)には御神輿渡御が行われました。

この御神輿は江戸時代に奉製されたと伝えられる由緒深い御神輿で、総重量は約450キロもあるそうです。

神社本殿から海岸まで男衆約30人が勇壮な掛け声とともに、御神輿を担ぎ、稚児や七福神など行列を組み、約1キロを練り歩きました。

北上地区

第15回 南三陸潮騒まつり

新鮮な海の幸が楽しめる南三陸海岸の特産が勢揃いの「第15回南三陸潮騒まつり」(実行委員会主催)が5月3日(出)から5日(月)までの3日間、神割崎キャンプ場イベント広場で行われました。

このまつりは、石巻市と南三陸町の観光協会などが協力して毎年この時期に行われているものです。

まつりには30団体が出店し、新鮮な三陸の海の幸や農産加工品などが販売され、なかでも炭火で焼いた殻付き力キヤホタテが人気を集め、南三陸の味を満喫していました。

野外ステージでは、北上町女川の五



川法印神楽」などの伝統芸能が披露され、まつりを盛り上げていました。



石巻地区

ちびっ子石巻の「ビーバー村」子ども達

米国アラスカ州ビーバー村のクルイックシャंक校の子ども達が、4月15日(火)と16日(水)に、修学旅行として石巻を訪れました。

これは、石巻出身で、ビーバー村を建設し、経済発展に貢献したフランク安田(本名・安田恭輔)の故郷を訪ねようと企画されたものです。

15日(火)は、蛇田の大型店で行われている「アラスカの星・フランク安田没後50周年記念パネル展」を見学し、また、フランク安田の親族の方とも面会しました。

16日(水)は、フランク安田の母校であ



る湊小学校の子ども達と歌やゲームなどを行ったり、市内観光施設を見学しました。

障害のある方の委託相談窓口が

2カ所体制に!!

障害のある方やその家族が、日常生活の困りごとなどを相談できる障害者相談支援事業所が開設されています。

昨年、石巻駅前にオープンした障害者(児)者相談支援事業所「ふりーすペーすK.A.R」と、今年4月に相談窓口がオープンした「ひまわり障害者相談支援事業所」の2カ所です。

ひまわり障害者相談支援事業所の神童所長さんは「急に障害を持った方などは、日常生活に相当な不安を抱えています。その不安を少しでも解消できればと思いますので、気軽に相談してほしい」と話していました。

なお、問い合わせは、「ふりーすペーすK.A.R」が ☎93・29924、「ひまわり」が ☎83・18600です。